

平成 23 年度 群馬県立文書館 県庁特別展

# 震災から復興へ

## - 資料に見る災害 -

期日：平成23年12月12日(月)～16日(金)



ぬれたページの水分や泥を吸い取る地道な作業が続いている(21日、館内の資料室で)

津波被災の公文書修復作業が、群馬県立文書館(前橋市文京町)で、津波被害を受けた宮城県女川町の公文書を修復する作業が進められている。群馬県によると、東日本大震災で同様の支援活動を行っている福道府県は、海水と泥につかった文書を取り扱うのは、同館も初めての経験だという。

### 津波被害の公文書修復

県立文書館 宮城から250冊 手助け

津波被災の公文書修復作業が、群馬県立文書館(前橋市文京町)で、津波被害を受けた宮城県女川町の公文書を修復する作業が進められている。群馬県によると、東日本大震災で同様の支援活動を行っている福道府県は、海水と泥につかった文書を取り扱うのは、同館も初めての経験だという。

津波被災の公文書修復作業が、群馬県立文書館(前橋市文京町)で、津波被害を受けた宮城県女川町の公文書を修復する作業が進められている。群馬県によると、東日本大震災で同様の支援活動を行っている福道府県は、海水と泥につかった文書を取り扱うのは、同館も初めての経験だという。



女川町の被災公文書を整理する文書館の担当者

### 被災公文書を「復旧」、保管の重要性認識を

被災公文書の復旧作業が、群馬県立文書館(前橋市文京町)で、津波被害を受けた宮城県女川町の公文書を修復する作業が進められている。群馬県によると、東日本大震災で同様の支援活動を行っている福道府県は、海水と泥につかった文書を取り扱うのは、同館も初めての経験だという。

被災公文書の復旧作業が、群馬県立文書館(前橋市文京町)で、津波被害を受けた宮城県女川町の公文書を修復する作業が進められている。群馬県によると、東日本大震災で同様の支援活動を行っている福道府県は、海水と泥につかった文書を取り扱うのは、同館も初めての経験だという。

読売新聞(平成23年6月22日)

上毛新聞(平成23年10月1日)

### 開催にあたって

去る3月11日午後2時46分、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を観測した東北地方太平洋沖地震が発生いたしました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

この地震によって、15,000人以上の方の尊い命が奪われ、3,500人近くがいまだ行方不明です。また今回の震災では、大地震の他、巨大津波、さらには原子力発電所の事故など、被害が多方面に及んでいます。

このように私たちの生活に甚大な被害を及ぼす震災を受けて、群馬県立文書館では今現在何が出来るかを考えました。今回の震災をきっかけに、明治・昭和三陸地震にともなう伝承の正しさや、貞観地震(869年)における津波の痕跡が掘り起こされる等、過去の教訓を改めて見直そうとする意識が高まっています。

そこで、今回は「震災から復興へ～資料に見る災害～」と題して、群馬県の災害・復興の歴史を当館収蔵の古文書・絵図・公文書・写真資料などで紹介する展示会を開催いたします。私たちが住む土地で、どんな災害があり、先祖たちがどのように復興を果たしたのか。災害に対しての備えや防災意識への一助となれば幸いです。

群馬県立文書館長

# ぐんまの災害史

月日は新暦

西暦	年号	年	月	日	災害の種類	被害地域	被害状況等	展示コーナー
1899	元禄	12	9	8	風水害	前橋	前橋領中にて潰れ屋五二七六軒 死者八人	
1742	寛保	2	9	1	風水害	全域	利根川及各河川大出水 土地家屋流失せるもの多し	風水害
1783	天明	3	8	5	火山噴火	吾妻・他	天明の浅間焼け 死者一四四三人 流家数九五七戸	火山災害
1783	天明	3			凶作	全域	浅間山爆発に起因した天候不順 食物は山いも、わら餅、栗、榎の実、草の根等、餓死者続出	
1786	天明	6	8	5	風水害	全域	利根川・渡良瀬川決壊 流失家屋数十戸 溺死者数十人	
1836	天保	7			凶作	全域	秋 冷害による凶作 米穀類全くなし 餓死者五六人	
1858	安政	5	9	5	風水害	全域	渡良瀬川矢場堰付近堤防三〇余間破壊	
1883	明治	16	5	1	火災	前橋	曲輪町六六戸 小山町一三〇戸 立川町四六戸等 計七三〇戸焼失 焼死者九人	
1892	明治	25	4	9	火災	万場	焼失二三四戸 死者一〇人 傷者一人	
1893	明治	26	5	6	霜害	南西部	霜害による食糧救助の儀出願	雹・霜害
1896	明治	29	6	15	風水害	岩手県三陸地方	三陸大海嘯(津波) 被災者へ義捐金送付	風水害
1896	明治	29	9	8	風水害	全域	連日大風雨諸川増水 溺死者五人 家屋流失一六戸 家屋全半壊二四四戸 床上床下浸水三七六八戸、等	
1898	明治	31	9	6	風水害	全域	渡良瀬川破堤 家屋流失四八戸、浸水二〇二九戸、群馬郡 死者四名 家屋流失崩壊破損浸水二八二戸、等	
1900	明治	33	7	9	雹害	群馬・多野	降雹による被害二八八町歩	雹・霜害
1902	明治	35	7	7	雹害	南東部	藪塚本町で鶏卵大の雹粒二寸積もる 桑・大豆・麦の被害大 死傷者数名	雹・霜害
1902	明治	35	9	27	風水害	全域	死者一〇人 家屋流失四七戸 渡良瀬川境野三つ堀周辺床上浸水二尺五寸以上 流死三人 足尾線一部流失	風水害
1910	明治	43	8	6	風水害	全域	死者二八四人 傷者一四二人 行方不明二二人 家屋流失浸水等二九二五七戸 道路決壊一五八一ヶ所 橋梁流失破損等二〇三九ヶ所等	風水害
1910	明治	43	8	24	雷雨害	中部	人家倒壊死傷者一〇余人 前橋の浸水家屋五〇〇戸以上、小野上死者四人 傷者一〇人	
1910	明治	43	10	10	風水害	邑楽	渡良瀬沿岸一面の泥海と化す 死者五〇余人 浸水家屋三〇六五戸	
1911	明治	44	5	8	火山噴火	浅間山	浅間山の山開きのため登山者多く 死者一人 傷者二人	
1914	大正	3	8	12	風水害	全域	死者一二人 流失倒壊家屋二八戸、邑楽郡の浸水二九三三戸	
1914	大正	3	8	8	風水害	全域	各地で堤防決壊 県下では死者七人 浸水家屋五六四戸	
1914	大正	3	8	29	風水害	全域	農作物被害三七〇〇町歩、等	
1916	大正	5	5	9	霜害	南西部	甘楽郡小野村で被害甚大	雹・霜害
1916	大正	5	7	4	風水害	中部	井野川氾濫 死者九人	
1919	大正	8	9	15	風水害	全域	家屋倒壊流失二八戸 群馬郡内の農作物被害七〇〇町歩、被害見積額六〇万円 死者五人 浸水多数	
1922	大正	11	8	23	風水害	全域	死者五人 浸水多数	
1923	大正	12	9	1	地震	関東各県	関東大震災 M七・九 家屋倒壊焼失三九万戸 死者一〇万人、前橋震度四 県内は負傷九人 家屋倒壊四九戸 一部破損多し	震災
1931	昭和	6	9	21	地震	全域	北関東地震(西埼玉地震) 高崎震度五 県内の被害 死者五人 傷者三〇人 家屋倒半壊一九三五戸、等	
1932	昭和	7	10	1	火山噴火	草津白根山	硫黄採掘中噴火の降石により 死者二人 重傷三人	火山災害
1933	昭和	8	6	14	雹害	中南東部	前橋南部から伊勢崎に大被害 死者七人 傷者二二人 家屋全半壊七五戸 農作物被害四二八四町歩、被害総額約五六万円	雹・霜害
1935	昭和	10	6	10	雹害	南部	鼻毛石で鶏卵大の降雹 被害八三六五町歩、被害見積額約一〇三万円	雹・霜害
1935	昭和	10	9	24	風水害	全域	明治四三年来の大被害 死者二一八人 傷者一九〇人 行方不明三九人 家屋流失全半壊一七八六戸 家屋浸水一七三三三戸、等	風水害
1937	昭和	12	7	14	風水害	全域	死者四人 傷者七人 行方不明二人 家屋流失全半壊二九戸 家屋浸水二六〇五戸 農作物被害七三二五町歩、被害見積額一十九万円、等	
1937	昭和	12	11	11	山崩れ	小串鉦山	毛無山山麓が崩壊し下流の鉦山関係家屋を埋没 死者一六四人 傷者二八人 行方不明一三六人、等	
1938	昭和	13	8	31	風水害	全域	台風が桐生付近を通過 死者三二人 傷者三三人 家屋流失全半壊六三三戸 家屋浸水八六二一戸、等	
1947	昭和	22	9	14	風水害	全域	カスリン台風 死者五九二人 傷者一二三一人 行方不明一〇七人 家屋全半壊三八八四戸 家屋浸水七二〇五五戸 稲作被害二二三〇〇町歩、等	風水害
1948	昭和	23	9	15	風水害	全域	アイオン台風 死者六人 傷者五人 行方不明四人 家屋流失全半壊六二戸 家屋浸水三九五七戸 田畑流失一〇七〇六町歩、等	風水害
1949	昭和	24	8	30	風水害	全域	キテイ台風 死者四人 傷者八九人 行方不明五人 家屋流失全半壊二二七四戸 家屋浸水三二九三戸 稲作被害一九二一〇町歩、等	風水害
1950	昭和	25	6	9	山崩れ	熊の平	前日の土砂崩れ取片付け中に山崩れ発生 死者五〇人 傷者二三人	
1950	昭和	25	7	9	風害	高崎・藤岡	藤岡北東部から滝川にかけての旋風 死者一人 傷者一人 家屋全半壊一二四戸	
1953	昭和	28	9	24	風水害	全域	台風一三号 傷者四人 家屋全半壊二二八戸 家屋浸水七〇戸、等	
1955	昭和	30	6	22	雹害	南東部	前橋から伊勢崎・木崎の線上に降雹 被害四八五五町歩、一億一三三五万円	雹・霜害
1958	昭和	33	9	17	風水害	全域	台風二一号 死者五人 傷者一人 行方不明九人 家屋流失全半壊二八戸 家屋浸水七八二戸、等	
1959	昭和	34	8	12	風水害	全域	台風七号 死者七人 傷者二六人 家屋流失全半壊三七七戸 家屋浸水一四九五戸、等	
1959	昭和	34	9	26	風水害	全域	台風一五号(伊勢湾台風) 死者一〇人 傷者二七人 家屋全半壊二二六二戸 家屋浸水八四七戸 農作物被害五二二〇〇畝、等	
1961	昭和	36	9	15	風水害	全域	台風一八号(第二室戸台風) 死者二人 傷者二人 通信線被害多し 水稲倒伏九八六九町歩、等	
1964	昭和	39	6	16	地震	北部	新潟地震 M七・五 前橋震度四	
1966	昭和	41	9	25	風水害	全域	台風二六号 前橋で最大瞬間風速四〇・二m/s 死者一五人 傷者九二人 住宅全半壊一八八三、等 被害約三六億円	
1981	昭和	56	5	31	霜害	北部	上空に寒気が流入 最低気温 水上〇・四 沼田一・〇 前橋六・四 農作物被害約四七億円	雹・霜害

群馬県立文書館 展示資料一覧

コーナー名	小テーマ	資料名	資料番号	コーナー名	小テーマ	資料名	資料番号
群馬災害史	江戸時代の水害と治水	群馬県気象災害史(昭和57年前橋地方気象台)	BLGB076	関東大震災に立ち向かった群馬県民	関東大震災に立ち向かった群馬県民	牛込改代町の倒壊家屋(『東京震災録 写真帳』)	議図2167
		寛保2年三波川村荒場之図	P8214 10698			野外で開かれた閣議(『東京府大正震災誌』)	議図2741
		元禄11年植栗村地内吾妻川之瀨絵図	P7801 415-4			牛込東五軒町江戸川べりの地割れ	議図2167
		寛保2年植栗村地内吾妻川之瀨絵図	P7801 415-3			崩れ落ちた吾妻橋	議図2741
		寛保2年8月1日大風流水二植栗村字島新田百姓本村へ引移家作之図	P7801 418-2			日本橋付近の焼け跡	議図2741
		勢多郡苗ヶ島村地内粕川御用水路御普請出来方絵図	P8511 109			本所被服廠跡の被災者の遺骨	議図2741
		蛇籠出しの図・弁慶杵の図・藪出しの図『治水要弁』	P9004 2267			震災にあった書類の虫干し -内閣文庫にて-	議図2167
		邑楽郡下早川田村渡良瀬川船橋之図、組立梁架橋之図	明76 1/3			宮城前でのテント生活	議図2741
		明治35年水位日表	明966 1/2			惨状を伝える救護隊の報告(大正12年9月3日付号外)	大正1069 2/4
		沼田地内薄根橋流失				列車にしがみついた避難者	議図2741
四万温泉積善館の周辺	議図88B 847	佐波郡救護班活動報告 県内各市町村救護班派遣状況	知84A386 1/2				
破壊された日影橋		避難者受け入れ四万余人(『大正大震災大火』)	議図2149				
倉田村大字三ノ倉高野谷戸山崩れ	議図88B 847	高崎駅での高崎中学校生徒による救護活動(大正12年9月6日付)	FD9004				
吾妻郡坂上村風水害略図	昭402 3/3	高崎駅に群る避難民(大正12年9月6日付)	FD9004				
坂上村大戸、大戸側から見た稲田橋	議図88B 847	新田郡における避難民救護状況及び各駅(前橋、新町、高崎、桐生)の救護状況	大725				
風水害と復興の歴史	明治時代以降の水害	水害報告電報案伺	昭381 4/6	震災と火災	震災と火災	執務日誌及看護日誌	大1068 1/2
		人事、建物、家財等	昭381 5/6			被災地からの電報及び伝書鳩第一信	大1068 2/2
		暴風雨及水害二依ル農作物被害(畑)(桑樹)	昭381 5/6			救護の自動車出発風景(大正12年9月2日付号外)	FD9004
		風水害損害価額	昭381 5/6			群馬県救護団東京出張所地図	知事84A385
		道路橋梁建物の損害見積額	昭381 5/6			上毛孤児院の活動	大1068 2/2
		農用地被害程度別	昭381 5/6			震災罹災者の散布状況(『大正震災志 上』)	議図2160
		邑楽郡富永村大字上五箇村地先附近住家倒潰の惨状	議図88B 847			義捐金募集のちらし	大725
		群馬県大水害視察飛行				義捐金処分に関する件	知84A385
		碓氷郡里見村神山下宿 山津浪				義捐物資の数量及び見積価額	大1068 2/2
		碓氷郡里見村上里見神山上町	議図88B 847			震災の本県教育上に及ぼせる影響及び罹災児童生徒収容調	知84A385
尾島町 田畑浸水		孤児写真	議図2149				
出発前の義捐品配給班(群馬県庁前)	FD9004	田端駅に集まった救助物資	議図2741				
戦後復興に追い打ちをかけた台風	戦後復興に追い打ちをかけた台風	カスリン台風群馬県水害被害図	知81A4579	火山災害を乗り越えて	火山災害を乗り越えて	要救助者減少状況	議図2160
		カスリン台風赤城山崩壊位置図	B794			東京市附近火災地域及び罹災民衆団地要図	知事84A387
		カスリン台風雨量比較グラフ	知81A4579			本県義捐金総額(大正12年9月17日付号外)	FD9004
		鐺川橋流失	議会88B 1075A			関東大震災と群馬県の教育	知84A385
		草軽電鉄三原一孺恋駅間の惨状	議会88B 1075C			摂政殿下御下問に関する照会電話要旨	知84A385
		カスリン・アイオン・キティ台風県庁裏水位表	議1407 1/2			摂政殿下結婚式延期の件	知84A386 1/2
		高崎市より群馬県あて被害調査報告	昭384			安政2年焼失市中発動図	P08005 897
		アイオン台風消防団員活動状況報告	知82A373			江戸大地震大火番付	BGB341
		明治43年台風 本県配当寄付金及寄付者名簿	明2767 1/2			地震計之図(江戸時代の舶来地震計)	P9301 547
		陸前国牡鹿郡鮎川村潮候及 義捐金廻送の件	明635			明治29年陸羽地震への救護	P09608 63-67
明治43年台風 蚕業に関する水害善後策	P9501 1321	本県地震の記録破り(大正5年2月24日付)	FD9004				
昭和10年群馬県大風水害善後会より会務に関する報告	昭1790	吾妻震災記事(大正5年2月24日付)	FD9004				
大正2年雨量観測所通報の件照会	大437	北関東地震記事(昭和6年9月22日付)	FD9004				
昭和24年雨量及び水位通報図	議1958	北関東地震(西埼玉地震)(『験震時報』)	議84B167				
昭和10年渋川町洪水防御規程設定の件	昭478	板東大橋のずれ(『験震時報』)	議84B167				
治山事業の重要性	B6374	阪神大震災(朝日新聞平成7年12月30日付)					
赤城山並室田町治山の前後	B6374	前橋市における震度4以上の地震	BLGB076				
数え歌 林業すすめ	B950060	浅間焼け降灰一尺余被害報告	P8213 1979				
森林ことわざ	B6374	中山道不通につき関所手形流用報告	P8213 1982				
雹・霜から作物を守る	雹・霜から作物を守る	昭和30年6月22日藪塚本町に降った雹	議会88B 1078	災害に備える	災害に備える	夫食になる物早々に植付け達し請書	P8213 1633
		明治33年7月9日多野郡美原村降雹被害	明879			蚕のでき方返答書	P8214 3449
		享保2年6月三波川村降雹被害報告	P8214 4248			疫病流行につき薬方公布御触書(写)	P08105 1036
		吾妻町凍霜害被害状況 -昭和56年5月31日-	議会88B 1839			天明3年8月浅間焼け御救金二両下付につき小前割渡し請書	P8003 1111
		大正5年5月9日北甘楽郡小野村長より霜害罹災状況報告	大236 1/5・2/5			浄法寺村川除人足賃銭割渡帳	P8603 88
		霜ふり蚕違作につき見聞願い	P8214 5167			草津白根山噴火踏査報告書	昭234
		昭和8年6月14日の降雹・旋風を分析する	昭274			県内全川流域地図及水質調査	昭274
		明治26年5月6日北甘楽郡より食料救助の上申	明486			農業及水産業に及ぼす影響	昭274
		明治35年新里村民より霜・雹害免租請願書	明960 1/3			雨乞い実施廻状	P0201 1449
		昭和10年6月10日雹害救済方の件に付申請	議1409			雨乞いお札	P8202 1388
諸達綴(昭和2年度)	P9007 200	雷除けお札	P0103 444				
パラフロストヒーター燃焼状況(前橋市木瀬地区)	議会88B 1077	下滝村絵図	P08105 513				
震災・震度及余震分布図	大1069 1/4	社倉麦拝借願い	P8111 660				
関東大震災画報	P00404 36	社倉積穀之大意	P8215 99-2				
大震災に因る被害状況	議図2160	社倉条例・義倉条例(県布達乙第102号)	議2588				
罹災者バラック収容状況	議図2741	備荒儲蓄法	BCZ004				
被害状況記事(大正12年9月3日)	FD9004	罹災救助基金法	官報知82A4903				
11時58分で止まった中央气象台大時計	議図2741	災害救助法	官報知82A5500				
宮城前広場を埋め尽くした罹災者	議図2167	災害対策基本法	官報知82A5669				